

3月24日 21世紀土地改良区創造運動表彰  
**水土里ネット菊池市が大賞を受賞**

平成28年度21世紀土地改良区創造運動表彰の授与式が東京都であり、水土里ネット菊池市（江頭理事長）が大賞を受賞しました。この表彰は、全国でも模範となる土地改良区の創造運動を行う団体をたたえるもので、地域づくりや地域農業の振興を目的に行われています。

水土里ネット菊池市は、地域の伝統文化、歴史を継承する活動や環境保全の取り組みが評価されました。

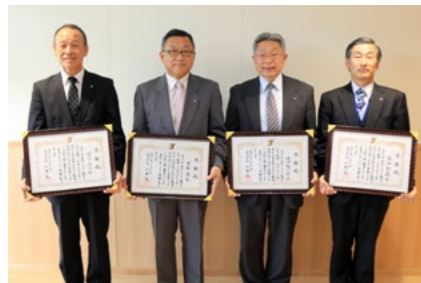


左から江頭理事長、菅本哲郎副理事長、井本達朗菊池市土地改良区事務局長

3月30日 感謝状贈呈  
**校長先生ありがとう!**

市内の小中学校を3月に退職した校長4人に感謝状が贈られ、市役所で贈呈式がありました。

感謝状が贈られたのは、隈府小学校の元校長、宮川淳一さん、花房小学校の元校長、岩根浩さん、泗水小学校の元校長、上田陽一郎さん、七城中学校の元校長、水田智英さんで、永年にわたり教育の充実と振興に尽力。児童生徒の学力と教育環境の向上に大きく貢献されました。



左から宮川元校長、岩根元校長、上田元校長、水田元校長

3月29日・30日 熊本落語会  
**笑いで熊本を元気に**

熊本落語会が菊池神社とつまごめ荘であり、たくさんの市民が落語や漫才を楽しみました。熊本地震の被災地支援を目的に開催されたもので、文化庁が主催。プロの落語家による小噺や切り絵のほか、本市出身の平山利さんが組む漫才コンビ「ホンキートンク」の息の合った漫才が披露されました。漫才を見たつまごめ荘の利用者は「たくさん笑って元気になりました」と目を細めていました。



ホンキートンクの漫才。右が菊池市出身の平山さん

3月24日 花房小学校卒業生を送る会  
**グランドゴルフで世代間交流**

花房小学校で卒業生を送る会があり、6年生12人とその祖父母や地元老人クラブの皆さんがグランドゴルフで交流しました。花房地区社会福祉協議会が、卒業生の思い出づくりになればと毎年開催しています。子どもたちは慣れない競技に苦戦しながらも、後半はナイスショットを連発。卒業生の前夢李奈さんは「地域の皆さんと一緒にできて楽しかった」と話しました。



ナイスショット！ホールインワン達成？

3月26日 第62回熊日菊池桜マラソン大会  
**韓国友好都市交流団が出場**

第62回熊日菊池桜マラソン大会があり、韓国友好都市清州市から交流団の選手5人が出場しました。菊池市民広場前を出発し、沿道からの声援を受けながら全員が完走。交流会で両市の親睦を深めるとともに、鞠智城や市内の物産館などを見学し、菊池の伝統や文化を体験しました。団員は、「沿道の声援がうれしかった。清州市のマラソン大会にもぜひ参加してほしい」と話しました。



交流団の皆さん

3月30日 宝くじ助成金事業  
**宝くじ助成事業で公民館を建設**

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、九の峰区にコミュニティセンター（公民館）が建設されました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として一般財団法人自治総合センターが助成決定を行うものです。

今後、九の峰区の益々の活性化が期待されます。



新しく建設された九の峰区公民館

3月12日 花房支館事業  
**花房あぜ道ウォークで地域を探検**

花房地区の歴史や文化などにふれあう「花房あぜ道ウォーク」があり、地域住民や花房小の児童らが参加しました。平成27年から花房支館事業の一環として毎年実施されており、ことしで3回目。参加者は区内を散策したり、史跡を巡ったりしたほか、地域に伝わる伝説を紙芝居で楽しみました。参加した児童は「花房の知らない歴史をたくさん知ることができた」と笑顔で話しました。



手作り紙芝居に子どもたちも興味津々

3月21日 市役所本庁舎増築棟落成式  
**新しい庁舎が完成しました**

平成27年12月から工事に着手していた本庁舎増築棟が2月に完成。1階ロビーで落成式を執り行いました。当日は、式典に続きテープカットやくす玉割りを行い、増築棟での業務を開始しました。今後、庁舎整備事業は、既存棟の改修工事および外構工事が残されています。12月に改修工事を完了させ、駐車場などの整備を含め、平成30年度には全ての整備が完了する予定です。



正面玄関でテープカットをする関係者

3月21日 隈府小学校  
**隈府小児童がまちづくりプランを提案**

隈府小学校3年生の児童6人が市役所を訪問し、江頭市長に3年生全員で考えたまちづくりプランを提案しました。児童は観光馬車、温泉スライダー、自然アスレチックなど50個以上をスライドショーで紹介。江頭市長は時折大きくうなずきながら「どれも本格的なプランで驚いた。菊池のことをよく知っている。すぐにできそうなプランもあった。ぜひ参考にしたい」と話しました。



まちづくりプランを発表した児童たち

2月23日 2016年産米の食味ランキング  
**七城のこめが9年連続最高賞特A受賞**

一般財団法人日本穀物検定協会主催の2016年産米の食味ランキングが発表され、熊本県城北地区代表として出品された「七城のこめ」が9年連続11回目となる最高評価の特A（141産地品種中44産地品種）を受賞しました。香り、甘味、食感の三拍子全てがそろった、自慢のお米をぜひご賞味ください。

「七城のこめ」は、ネットショップ菊池まるごと市場でも購入できます。



関係者の皆さん

3月21日 卒業プレゼント  
**ロアッソ熊本が観戦チケットを贈呈**

プロサッカークラブ「ロアッソ熊本」を運営する(株)アスリートクラブ熊本から市内の小中学校に観戦チケットが贈られ、市役所で贈呈式がありました。贈られたのは、大分トリニータ戦のペアチケットで3月で小学校を卒業する児童全員に卒業のお祝いとして贈られました。観戦チケットを贈った同社の小林弘記さんは「赤いユニフォームを着てぜひ応援にきてください」と話しました。



小林さんから隈府小学校の宮川淳一前校長に観戦チケットが手渡されました

3月21日 生涯学習センター  
**前田建設工業(株)が知育玩具を寄贈**

生涯学習センターを建設した前田建設工業(株)から市へ知育玩具の寄贈があり、市役所で目録の贈呈式がありました。生涯学習センターを利用する子どもたちが、楽しく過ごせるようにとの思いから、木製遊具や巨大絵本など多くの知育玩具が贈られました。目録を受け取った江頭市長は「たくさんの玩具をありがとうございます。子どもたちの喜ぶ姿が目に見えます」とお礼を述べました。



前田建設工業(株)の近藤清一さんから江頭市長に目録が手渡されました



4月18日 菊池北小学校タケノコ堀体験  
タケノコたくさん取れました!

菊池北小学校の4年生41人が、黒谷光臣さん(太田)所有の竹林でタケノコ堀りを体験しました。児童たちは、黒谷さんほか地域の「先輩」から掘り方を教えてもらいながらタケノコ堀りに挑戦。大きなタケノコを掘り当てると、重たそうに持ち上げて喜んでいました。

岩崎正裕くんは「最初はうまくできなかつたけど、教えてもらったらできるようになりました」と笑顔を見せました。



体験は今回で19年目。上手に鎌を使い大きなタケノコを掘り上げました

4月22日 第2さくら幼稚園お見知り遠足  
親子で地域の魅力を学ぼう

第2さくら幼稚園(本藤ヨシ子園長)の園児が、親子で隈府の市街地巡りをしました。同園では毎年4月、新入園児とともに親子で遠足を実施しています。ことしは菊池一族スタンプラリーの開催中であつたことから、菊池一族や菊池遺産の史跡をめぐるラリーを実施。

將軍木や菊池温泉第1号井などを巡りました。参加した保護者は「地元を知る良いきっかけになった」と話しました。



親子でスタンプラリーを楽しみました

4月25日 県・市税務職員併任協定辞令交付式  
県とタッグで税徴収率アップ

県と本市の税務職員併任協定に伴う辞令交付式が市役所であり、県北広域本部総務部収税課職員7人に辞令が交付されました。

県税および市税の徴収率向上を目的に締結したもので、期間は平成30年3月30日まで。併任職員は県税と市税両方の徴収事務が可能になり、本市では月2回程度市内の地方税滞納者を対象とした徴収事務を行います。



木村利昭副市長から辞令が交付されました

4月16日 菊池市消防団入団式  
まちの安全を守る新たな力

菊池市消防団入団式が菊池市総合体育館で行われ、100人の新消防団員が誕生しました。式典で荒木新勝団長は「消防団としての誇りを持ち、自分たちのまちは自分たちで守るといふ消防精神に基づき、地域の安心安全を守るために活躍してほしい」と訓示。江頭実市長は「これまでの伝統と経験をしっかりと受け継ぎ、地域に根ざした活動を目指してほしい」とエールを送りました。



荒木団長から新入団員に辞令が交付されました

4月22日 「西部の森きくち」第8回植樹祭  
企業と地域と行政の森づくり

「西部の森きくち」第8回植樹祭が開催され、西部電気工業(株)の社員や家族など約260人が参加。旭志の市有林にヤマザクラ1,050本、ヤマモミジ400本、ヤマボウシ300本を植樹しました。この活動は平成22年度から同社と市が森づくり協定を結び取り組んでおり、ことしで8回目。今までに1万3千本の木を植えてきました。植樹後は、椎茸の植菌作業や木工教室を体験しました。



植樹祭には子どもから大人まで大勢の人が参加しました

4月23日 第30回若鮎旗争奪少年剣道大会  
菊池白龍館が剣道大会で優勝

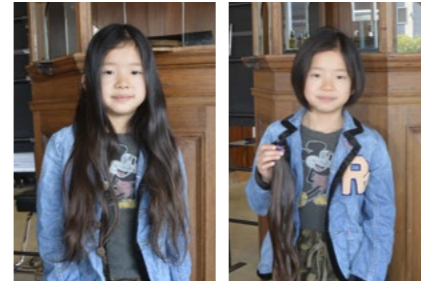
宮崎県で第30回若鮎旗争奪少年剣道大会が開催され、九州各県から68チームが参加。強豪ひしめくなか、菊池剣道会「菊池白龍館」が小学生女子の部で優勝しました。メンバーは次のとおりです。(敬称略)先鋒：後藤楓花(泗水小6年)、中堅：野口歩華(菊池北小6年)、大将：稲田朋果(菊池北小6年)。中堅の野口さんは「毎回の稽古が楽しい。これからも頑張ります」と話しました。



優勝した菊池白龍館の皆さん

4月4日 ヘアドネーション  
岩根玉季さんが髪の毛を寄付

髪の毛のことで悩む子どもたちに自分の髪を役立ててほしいと、岩根玉季さん(隈府小2年)が腰付近まであった髪を生まれて初めてカット。病気などで髪を失った子どもたちに、かつらを無償で贈る活動に取り組むNPO法人「JHDAC」に寄付しました。岩根さんは「髪を切るなら寄付しようと考えていた。自分の髪が、誰かの役に立ってくれればうれしい」と笑顔で話しました。



⑤カット前、⑥カット後。約35センチの髪を寄付しました

4月6日 春の全国交通安全運動出発式  
交通事故ゼロを目指して

4月6日から15日まで行われる「春の全国交通安全運動」に伴い、出発式が菊池南中学校体育館で行われました。当日は、交通安全関係団体の関係者などが多数参加。あいにくの雨のため室内での開催となりましたが、交通安全功労者などの表彰のほか、菊池南中学校吹奏楽部による演奏、菊池市老人クラブ連合会のメンバーや花房保育園の園児による交通安全宣言などがありました。



園児たちが元気いっぱい交通安全を宣言しました

4月14日 ブラジル熊本県文化交流協会  
熊本地震からの復興を願って

ブラジル在住の県出身者で組織するブラジル熊本県文化交流協会が、熊本地震の慰問で本市を訪れました。訪問団の中には、市出身や市内の高校を卒業した人もおられ、ブラジルで製作した早期復興を願う千羽鶴が市へ贈られました。旧泗水町出身で1960年にブラジルに渡った内村俊一さんは「地球の裏側に居てもふるさとを愛する気持ちは変わらない」とふるさとへの思いを語りました。



ブラジル熊本県文化交流協会の皆さん

4月1日 日産自動車(株)  
電気自動車が無償貸与されました

日産自動車(株)から市へ電気自動車e-NV200が3年間無償で貸与されました。無償貸与は同社のPRモニターキャンペーンの一環で、同社がB&G財団と全国の海洋センターのネットワークや、地域住民の健康・地域づくりに賛同し実現しました。この事業には全国から約140件の申請があり、B&G財団が車両を最も有効に活用できる海洋センター60カ所を選定。本市に貸与されました。



無償貸与された電気自動車

4月4日 菊池市戦没者追悼式  
世界の平和を願いました

菊池市総合体育館で平成29年度菊池市戦没者追悼式(菊池市英霊顕彰会主催)が開催され、遺族や市民約230人が出席。戦没者への思いをはせながら全員で献花を行いました。

式典では、岩木啓祐さん(鹿本高校3年)が、「世界中の人々がみんな平等で、不自由のない笑顔のある幸せな生活を送れるように」と平和への願いを述べました。



誓いの言葉を述べる岩木さん

4月12日・13日 イオン九州(株)初任者研修  
新入社員が災害ボランティア

イオン九州(株)の新入社員74人が2日間、本市で災害ボランティアを実施しました。同社は社員研修で災害ボランティアを行うなど被災地支援を続けており、今回は初任者研修の一環として実施しました。一行はまず菊池市災害ボランティアセンターに集まった後、



旧迫水小学校で草取り